

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課
担当課長名:水野 宏治

事業名	空港・港湾等アクセス 主要地方道 高岡小杉線(橋下条～南太閤山)	事業区分	地方道	事業主体	富山県	
起終点	自:富山県射水市橋下条 至:富山県射水市南太閤山			延長	1.2km	
事業概要 主要地方道高岡小杉線は高岡市と射水市、富山市を東西に連絡する道路の一部であり、国道8号を補完し広域的な交通ネットワークを支える重要な幹線道路である。 重要物流道路の一部であり、国際拠点港湾と高速道路ICのアクセス性の向上を目的として、国道472号と平面交差する五歩一交差点を立体交差化するものである。						
H28年度事業化		S49年度都市計画決定		R元年度工事着手		
全体事業費		約94億円		事業進捗率 30%		
計画交通量		37,700台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 51/ 81億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 136 / 136億円	
	1.7	6.6%	(事業費: 51/ 80 億円)		(走行時間短縮便益: 116/116億円)	
	(参考) 2.6 [2%]		(維持管理費: 0.65/ 0.65億円)		(走行経費減少便益: 14/ 14億円)	
	3.4 [1%]		(更新費: - / - 億円)		(交通事故減少便益: 5.1/ 5.1億円)	
	(残事業) 2.6	(残事業) 10.5%	(事業全体)		(残事業)	
(参考) 4.0 [2%]		感度分析	交通量	B/C=1.3～2.0(±10%)		
5.0 [1%]			事業費	B/C=1.6～1.8(±10%)		
			事業期間	B/C=1.5～1.8(±20%)		
			事業期間	B/C=2.1～3.1(±10%)		
			事業費	B/C=2.4～2.9(±10%)		
			事業期間	B/C=2.4～2.8(±20%)		
事業の効果等 ・国際拠点港湾伏木富山港(新湊地区)と高速道路IC(北陸自動車道小杉ICなど)や工業団地(小杉流通業務団地など)の連携が強化され、物流の効率化など生産性の向上が図られる。 ・高岡市、射水市、富山市を結ぶ幹線道路として沿線地域の連携強化と地域開発、市街地交通の円滑化や安全性の向上が図られる。						
関係する地方公共団体等の意見 ・七美太閤山・太閤山高岡線建設促進期成同盟会(会長:射水市長)などから早期整備を要望されている。 ・地域住民説明会を実施し、周辺住民と合意形成を図っている。						
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。						

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率30%	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地の取得は完了しており、今後は早期完了を目指し、高架化の工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等 土工区間の舗装構成の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。	
対応方針	継続
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。
事業概要図	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)